

## 県内主要発注企業外注ニーズ調査結果

生産概況で、「多忙」、「適正」とする品目が、増加し、見通しも、半導体、精密機器、OA機器などの分野で、生産増か。

当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

### 調査について

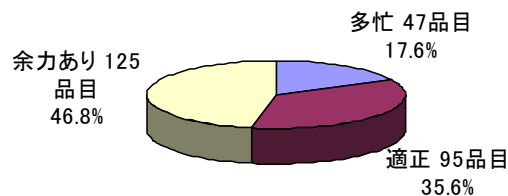
目的	県内主要発注企業の外注状況、下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。
対象企業	岩手県内所在の発注を主とする登録企業 98社
調査方法	訪問によるヒアリング調査
調査時点	平成23年2月
コメント	製造分野別では、「その他」についてはコメント(解説)していない。

## 生産状況

### (1) 現況

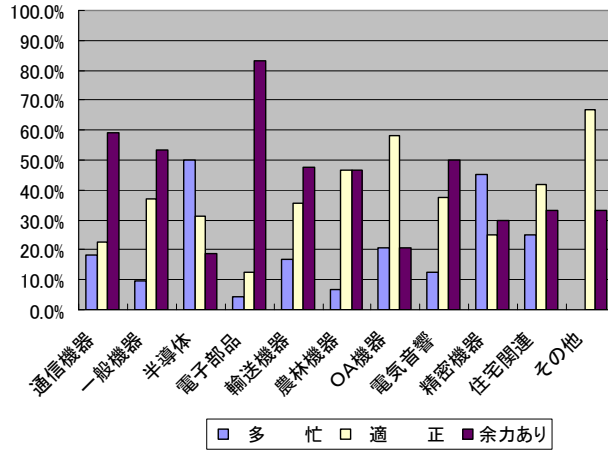
回答企業数98社の生産概況を生産品目総数267品目についてみると、「多忙」とする品目が47品目17.6%(前年度15品目4.9%)、「適正」が95品目35.6%(前年度79品目26.0%)、「余力あり」が125品目46.8%(前年度210品目69.1%)となっており、前年度と比較して「多忙」が32品目12.7%増加、「適正」が16品目9.6%増加、「余力あり」が85品目22.3%減少している。(図-1)

図-1 生産品目でみる現況(合計267品目)



これを製造分野別にみると、「多忙」は半導体が50.0%(前年度15.8%)で最も高く、次いで精密機器が45.0%(前年度0.0%)となっている。「適正」はOA機器が58.3%(前年度40.9%)で最も高く、次いで農林機器が46.7%(前年度33.3%)となっている。「余力あり」は電子部品が83.3%(前年度76.7%)で最も高く、次いで通信機器が59.1%(前年度68.2%)となっている。(図-2)

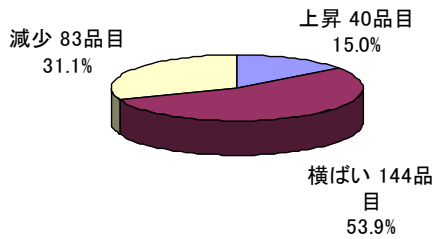
図-2 製造分野別でみる現況



(2) 見通し

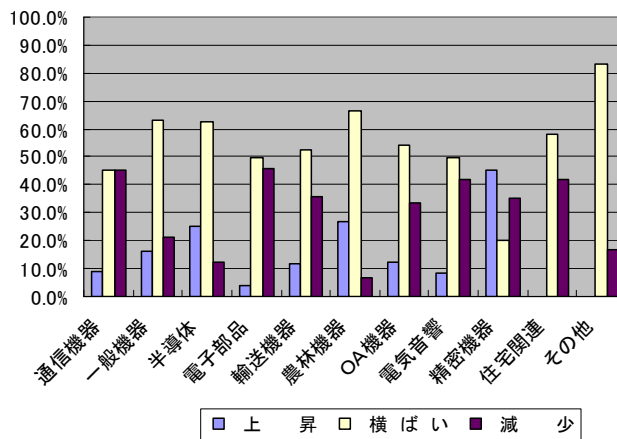
今後の見通しを生産品目総数 267 品目についてみると、「上昇」が 40 品目 15.0% (前年度 33 品目 10.9%)、「横ばい」が 144 品目 53.9% (前年度 131 品目 43.1%)、「減少」が 83 品目 31.1% (前年度 140 品目 46.1%) となっており、前年度と比較して「上昇」が 7 品目 4.1 割増加、「横ばい」が 13 品目 10.8 割増加、「減少」が 57 品目 15.0 割減少している。(図-3)

図-3 生産品目でみる見通し(合計 267品目)



これを製造分野別にみると、「上昇」は精密機器が 45.0% (前年度 15.0%) で最も高く、次いで農林機器が 26.7% (前年度 6.7%) となっている。「横ばい」は農林機器が 66.7% (前年度 80.0%) で最も高く、次いで一般機器が 62.9% (前年度 49.4%) となっている。「減少」は電子部品が 45.8% (前年度 50.0%) で最も高く、次いで通信機器が 45.5% (前年度 68.2%) となっている。(図-4)

図-4 製造分野別でみる見通し

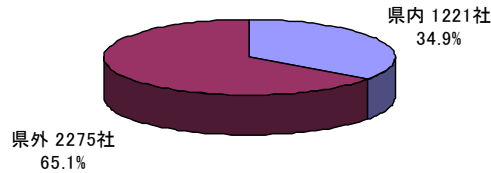


# 外注状況

## (1) 外注企業数

回答企業 98 社が外注している企業の数 は 3,496 社（延べ数、以下同じ）あり、これを県内及び県外別でみると、「県内」が 1,221 社で 34.9%（前年度 1,371 社 35.1%）、「県外」が 2,275 社で 65.1%（前年度 2,532 社 64.9%）となっており、前年度と比較して「県内」の割合が若干減少している。（図-5）

図-5 県内及び県外別の外注企業数(合計 3,496社)

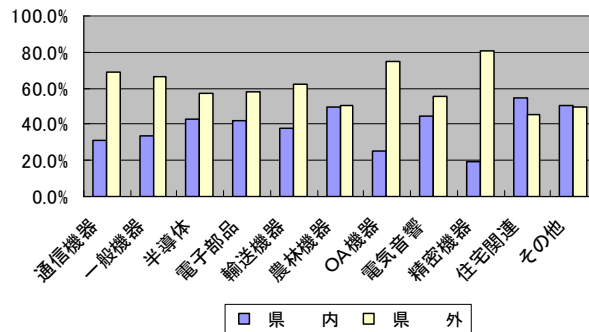


これを製造分野別にみると、一般機器が 727 社で最も多く、次いで精密機器が 567 社、輸送機器が 393 社となっている。

さらに県内及び県外別で県内への外注割合が高い製造分野は、住宅関連の 36 社 54.5%、農林機器の 91 社 49.2%、電気音響の 149 社 44.5%となっている。

逆に県外への外注割合が高い製造分野は、精密機器の 456 社 80.4%、OA機器の 244 社 75.1%、通信機器の 173 社 69.2%となっている。（図-6）

図-6 製造分野別外注企業割合

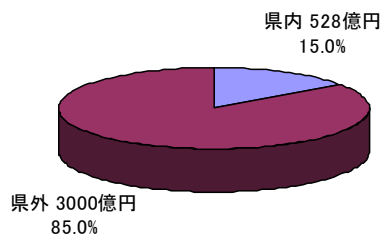


## (2) 外注金額

回答企業 98 社の 1 年間での外注金額は、3,527 億 4,870 万円（前年度は 110 社 2,507 億 549 万円）となっている。

このうち県内への外注は 527 億 7,772 万円で 15.0%（前年度 421 億 755 万円 16.8%）、県外への外注は 2,999 億 7,098 万円で 85.0%（前年度 2,085 億 9,794 万円 83.2%）となっている。（図-7）

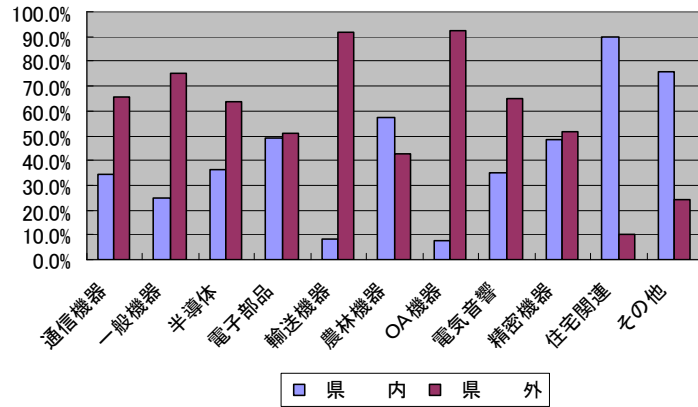
図-7 県内及び県外別の外注金額(合計3,528億円)



これを製造分野別にみると、県内への外注は住宅関連が 89.7%で最も高く、次いで農林機器が 57.1%、電子部品が 49.2%となっている。

一方、県外への外注についてみると、OA機器が 92.6%で最も高く、次いで輸送機器が 91.9%、一般機器が 75.1%となっている。(図-8)

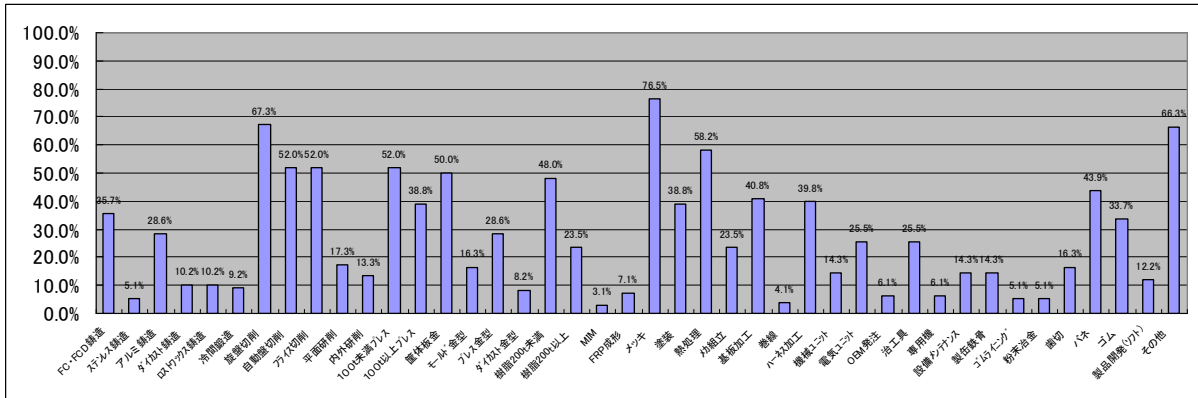
図-8 製造分野別外注金額の割合



## 外注している加工内容

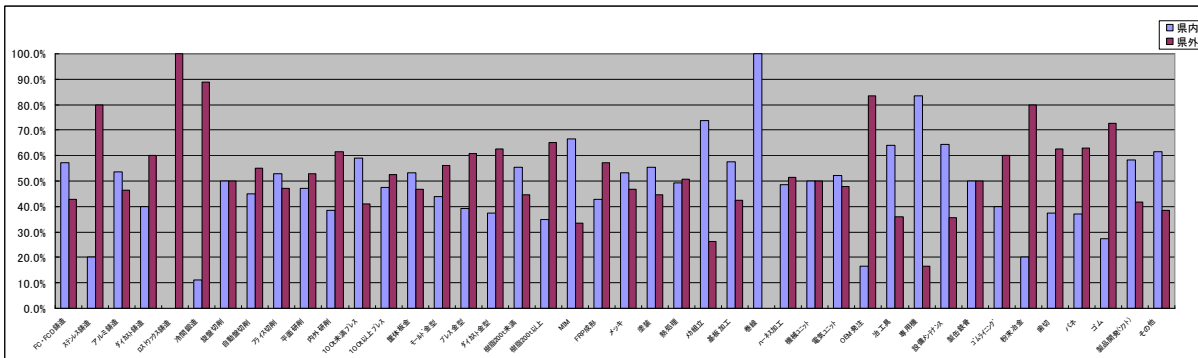
回答企業 98 社が外注している加工内容をみると、「メッキ」が 75 社 76.5%と最も高く、次いで「旋盤切削」の 66 社 67.3%、「熱処理」の 57 社 58.2%となっている。(図-9)

図-9 加工内容別外注割合



これを県内及び県外別にみると、県内へは「巻線」が 100.0%で最も高く、次いで「専用機」が 83.3%、「メカ組立」が 73.9%となっている。県外へは「ロストワックス鋳造」が 100.0%で最も高く、次いで「冷間鍛造」が 88.9%、「OEM発注」が 83.3%となっている。(図-10)

図-10 加工内容別県内及び県外企業割合



## 県内発注企業からの県内受注企業に求められる課題

県内の発注企業が、現在、県外の企業に外注している案件について、県内の企業に切替えるとした場合に求められる課題は、「コストダウンへの対応力」が69社(70.4%)、「短納期化への対応力」が49社(50.0%)、「管理体制のレベル」36社(36.7%)、「多種少量生産への対応力」31社(31.6%)、「加工精度」27社(27.6%)となっている。(図-11)

図-11 外注企業(県内受注企業)に求められる課題

